

1 審議会名	上田市公文書館運営協議会
2 開催日	令和3年10月18日
3 会場	書面審議
4 出席委員	堀内委員、小平委員、児玉委員、関委員、田村委員
5 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
6 会議概要作成年月日	令和3年10月31日

協 議 事 項 等

1, 2 来館者数・運用状況について

(委員)

・新型コロナウイルス感染症拡大の心配の中にも関わらず、思いのほか来館者がありよかった。
 ・公文書の他、古文書の寄贈や寄託も増加が予想される。丸子地域の古文書はできるだけ公文書館に置いてもらいたい。

(委員)

・コロナウイルス感染禍と公文書館の立地のことを考えれば、1日平均1.8人の閲覧はよしと受け止めなければならないか。
 ・「取材/視察/イベント」の項は、できれば、「取材」何人・取材先名、「視察」何人・視察団体名、「イベント」何人、と分けての数値や取材先名、視察団体名が知りたい。

(委員)

・コロナによる休館を考慮しても、利用者数は多いように思われる。数字では知れない、どんな方々か知りたい。目的とともに。今後の存在意義にも関係する。

(委員)

・令和2年度来館者数については、コロナ禍のため臨時休館等があり、入館者が少なかったことはやむを得ないと思う。
 ・運用状況では、旧役場文書の閲覧文書の閲覧、掲載等の申請が多いので、今後重点的に整備していくことも検討してよいと思う。また、古文書の寄贈・寄託の申出数が多く、よい傾向と思う。

(委員)

・コロナ禍ということで、いろいろできなかったわけであるが、計画ご苦労様でした。

3 事業報告について

(委員)

・公文書館講座の実施見合わせは致し方のないこと。そんな中で、魅力有る企画展示をしたり、興味引かれる公文書館だよりの発行をしたり本当にご苦労様でした。

(委員)

・公文書館講座について：外部講師の招聘の時は、地域史連絡協議会に加盟している研究会に声をかけて積極的な活用(連携)を図っていただくとありがたい。地域とともに歩む公文書館として公文書館の活用という観点と地域史研究の発展を期することからも一考していただければと思う。

・企画展示について：展示環境は決して好条件ではないが、毎回歴史のニーズに合わせた展示は、一光

を放っている。

(委員)

- ・コロナ禍で致し方ないと思う。
- ・公文書リテンションについて：チェックするリストは、保存対象として選別したものか。今年度廃棄対象全てのリストか。“このリスト”の「この」が不明確。私たちは何をチェックすればよいのか。

(委員)

- ・コロナ禍において公文書館主催講座の開催を見合わせたことは、国・県・市の対策方針もあり仕方がなかった。このような中でも、所蔵資料の企画展示を第6回、第7回と開催できたことはよかったと思う。
- ・コロナ禍で外出が多方面から規制される中で、広報活動に力を入れ、第9号から13号までの5回の公文書館だよりが発行できてよかったと思う。
- ・行政チャンネルでの展示説明の放映は、多くの人にお知らせすることができてよかったと思う。

4 全般について

(委員)

- ・大量の公文書の整理や今後の公文書館の充実・発展を考えると、専門の職員の増員を強く市に熱望したい。

・新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息を願うと共に、職員の皆さんのご健康をお祈りしている。

(委員)

- ・レファレンスについて：問い合わせなどの中で、みんなで共有しておくことが望ましい事項などがあれば書き出しておいてもよいのではないだろうか。

(委員)

- ・和子の下水処理施設について：よいことと思う。(場所が分からないが)、保存環境はどのようになるのか。

・旧保育園が中間保管室、整理場所として確保されたことは、位置からしても一体として使え、とてもよいことだと思う。

・タコ足だが、色々整ってきたので、あとは講座の場所の問題が解決すればと思う。

(委員)

・長野県資料保存活用連絡協議会(県史料協)の総会が6月24日(木)に開催されたとのことだが、理事会及び総会は会員でなければ参加はできないことは承知しているが、講演会については上田市公文書館運営協議会委員にも知らせてもらいたい。

(委員)

・歴史に興味のある人にとっては大変貴重な資料があるので、公開、展示などを行って、広く市民の方に活用してもらいたいと思う。